

勇往邁進！大阪
変化をチャンスに

大阪府工業協会 井上 礼之 会長



メッセージ

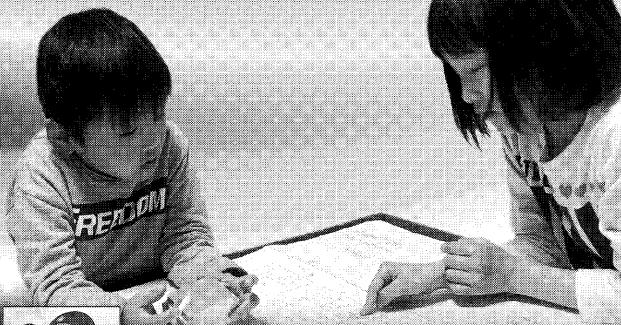
今、企業において人手が企業の競争力に直結する。人手不足、採用難、若手社員の育成など、問題が大きく定着や働き方改革など、「人」の問題が大きく、企業間交流では、クローズアップされ、ます。これは、優秀な人材を確保し育成すること、その中で今、特に重要な

モノづくり、技術革新に焦点

しているのは、"モノづくり"を図つてきました。研修会は、現場に密着したテーマの研修事業、と、急速な技術革新に関する研究会活動です。モノづくり現場に密着したテーマの研修会は、人材の育成に関するさまざまな技術革新についての情報収集・意見交換を行う研究会です。これは、優秀な人材を確保し育成すること、その中で今、特に重要な

ものづくりの継承

技術は人から人へと受け継がれ、私の受け継いだ技術で息子にキラリとひかる一芸に秀でた人材に育成したい。創業九十年の歴史を重ねた技術を未来へ…。



大阪府工業協会の取り組み



経営者向け講演会

さらに、2017年度は新規事業として「朝活」を始めた(詳細は次頁)。また「人材活性化フォーラム」を18年2月に開催する。今回は、若手が定着しない、育

たない状況をどう乗り越えるかに焦点を当て、さまざまな仕掛けと働きかけで組織と人材を活性化していく企業の具体例を聞く、という内容である。

企業間交流では、技術革新についての情報収集・意見交換を行う研究会活動が中心だ。

大阪府工業協会は1949年に設立され、当時の松下電器産業(現パナソニック)社長だった松下幸之助が初代会長に就任。戦後日本の復興期に官民一体となって大阪府下の産業振興に寄与することを目的に活動をスタートした。

現在、会員企業は約1200社を数える。業種や事業分野も多岐に広がり、所長もモチベーションを高め、業が互いに交流することで未知の情報やビジネスのヒントを得る、ことを狙いとしている。

一方で、16年度にスター

トした「工場長大会」は新しい企画で、約100人の

会員企業の競争力向上を

トした人づくり、企業

海外視察では、自動車・

電機・航空機などの日系企

業・現地企業を訪問するだけ

で、製造業に共通する課題

をともに考える場である。

一方で、16年度にスター

トした「工場長大会」は新

ため、研究会でも講演会

で開催した。18年度も自動

車メーカーとの実施を計画

する。

一方で、16年度にスター